

重点事務事業進行管理表

年度	令和5年度	No.	1	進行管理者	都市整備部長	
事務事業名	多摩都市モノレール関連事業（立地適正化計画策定事業）					
事業の概要	多摩都市モノレールの延伸を見据えた持続可能な都市づくりの実現と、防災・減災対策に取り組むための防災指針を位置付けた、立地適正化計画を令和6年度までの2年間で策定する事業					
これまでの経過	令和5年度予算に計上し、令和5年度早々に事業着手できるよう、プロポーザルの準備を始め、策定支援委託業者の選定（令和5年4月）に向け調整を行った。					
本年度の予算措置	総事業費	12,203千円		うち 一般財源	3,203千円	
本年度の目標	計画の策定に向けた検討委員会を設置し、令和6年3月までに居住誘導区域及び都市機能誘導区域の誘導施策・誘導方針（案）を検討する。					
上半期の計画と実績	計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>委託業者の選定（4月）</li> <li>検討委員会の設置（5月）</li> <li>居住・都市機能誘導区域の検討（8月～9月）</li> </ul>		実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>委託業者の選定（プロポーザル方式）（4月）</li> <li>現況の分析と課題の整理（5月～7月）</li> <li>検討委員会の設置（8月）</li> <li>居住・都市機能誘導区域の検討（9月）</li> </ul>	
下半期の計画と実績	計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>居住・都市機能誘導区域の検討（10月～12月）</li> <li>誘導施策・誘導方針（案）の検討（12月～令和6年3月）</li> </ul>		実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりの基本的な方向性の検討（10月～令和6年3月）</li> <li>居住誘導区域の設定・誘導方針の検討（令和6年1月～3月）</li> </ul>	
中間評価	達成度	目標以下 ・ <span style="border: 1px solid black;">目標どおり</span> ・ 目標以上				
	取組の成果	現況の分析と課題の整理を行い、今後の誘導区域の考え方について整理を行った。				
期末評価	達成度	<span style="border: 1px solid black;">目標以下</span> ・ 目標どおり ・ 目標以上				
	取組の成果	本年度の目標は誘導方針・誘導施策（案）の検討までであったが、居住誘導区域の設定の段階で、根拠の整理や、区域設定の根拠となるまちづくりの方向性から再構築する必要が生じたため、居住誘導区域の誘導の方向性まで検討した。				
	事業費の実績	総事業費	11,682千円		うち 一般財源	3,862千円
	今後の方針	今後は、計画素案を取りまとめ、パブリックコメント・説明会を行い、令和6年度末に計画策定を行う。				